

## 「緑のまちづくり活動支援基金」への応募状況について

平成 20 年 6 月に募集した「緑のまちづくり活動支援基金」の「身近な緑と花いっぱい活動部門(ソフト部門)」への応募状況についてまとめましたので、お知らせします。

### 1 「緑のまちづくり活動支援基金」の概要

「緑のまちづくり活動支援基金」には、「身近な緑と花いっぱい活動部門(ソフト部門)」と「みんなでつくる身近な緑の拠点部門(ハード部門)」の 2 つの部門があり、今回はソフト部門を募集しました。

#### (A) 身近な緑と花いっぱい活動部門(ソフト部門)

- ア 花苗・生垣のための支援コース(事業費の 1/2 以内かつ 2 万円以内)  
町内会等が行う花壇の花植や、個人が行う生垣に対して助成します。
- イ 花と緑いっぱい活動助成コース(事業費の 1/2 以内かつ 5 万円以内)  
商店街等の通り沿いにプランター等を設置する活動に対して助成します。

#### (B) みんなでつくる身近な緑の拠点部門(ハード部門) 本年 9 月募集予定

- ア 地域に安全と潤いを提供する緑の拠点づくりコース(事業費の 1/2 以内かつ 10 万円以内)  
ブロック塀を撤去して生垣にする場合や、オープンガーデン等をつくる場合に助成します。
- イ 地域に身近な緑の拠点づくりコース(事業費の 1/2 以内かつ 500 万円以内)  
身近な広場やポケットパーク等をつくる場合に助成します。

【参考】緑のまちづくり活動支援基金ホームページ((財)秋田市総合振興公社)

<http://www.akita-sousin.or.jp/midori/index.html>

### 2 身近な緑と花いっぱい活動部門(ソフト部門)の応募状況

応募件数は 158 件、内示決定の助成金額は 2,210,291 円、花苗数は 30,925 ポットである。  
これらのうち以下の 3 件については、既存制度では申請のなかった団体からの申請である。

草生津川コスモスロード実行委員会(コスモスロードづくり)

茶町菊ノ丁町内会(大町商店街につり下げバスケット)

泉環境ボランティアの会(これまで市の業務委託により植栽していたハミングロードについて、地元自らが植栽)

事業名	申請者		ポット数
	団体	個人(生垣)	
ア 花苗・生垣のための支援コース	152	2	24,949
イ 花と緑いっぱい活動助成コース	4	-	5,976
合計	158		30,925



泉環境ボランティアの会



茶町菊ノ丁町内会



新屋松美ヶ丘老人クラブ

### 3 市民からの主な意見と対応状況

#### (1) 好評である意見

- ・ これまでは市から交付された本数しか植栽していなかったが、基金では、自分たちが直接買うことになり、これまでより花苗の種類や本数が増やすことができた。
- ・ これまで1団体に対する市から交付される本数が少なかったため、同じ町内の中で、町内会・老人会・子供会などが共同で申請し、本数を確保していたが、基金では、1花壇に1団体を原則としていることと、必要とする本数を自分たちで買うことから、申請団体を一本化することができ、町内の仕事が楽になった。
- ・ これまでは市から花苗しか交付されなかったが、基金では、肥料や種を買うことができる。
- ・ つり下げバスケットのような新たな取組みにも支援を受けられるようになった。

#### (2) 不評である意見

基金の資料を配布する際、JAも花苗の購入申込書を配布したが、両者の関係がわかりづらかった。

問い合わせや記入の仕方を説明した時はわかって、申請の段になると記入の仕方がわからなくなってしまう。

申込みの受付時期が遅い(今年度は6/2~20)

これまではハガキによる申込みでよかったが、基金では申請書を書き、公社に行かなければならず手続きが大変である。

これまでは街路樹の植樹ますに花苗を植栽する場合、個人が申請できたが、基金では、個人の申請はできない。

そもそも基金設置の目的や背景がわからない。

#### (3) これまでの対応状況

については、資料の配布にあたっては、市民が誤解することのないようJAと調整を図る。

については、申請書の記入例をわかりやすくなるよう改善した。

については、基金の設置手続きの関係から6月の募集となったが、平成21年度以降の申込み時期は、3月としている。

については、郵送によっても申請できることや、市公園課でも受け付けていることを説明した。

については、緑の「まちづくり」を支援する観点から、「花苗・生垣のための支援コース」では、生垣の設置を除き、町内会等の団体からの申請に限ることとしているので、町内会等の花壇と合わせて申請するよう説明し、理解を得た。

については、基金の主旨や手続きを説明し、理解を得た。今後も周知に努める。

問合せ先

秋田市都市整備部公園課企画担当 榎岡

018-866-2154

(財)秋田市総合振興公社緑のまちづくり活動支援基金事務局 川辺

018-829-0221

